

グラフで見る関西経済(2021年2月)

2021年2月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

【今月のポイント】

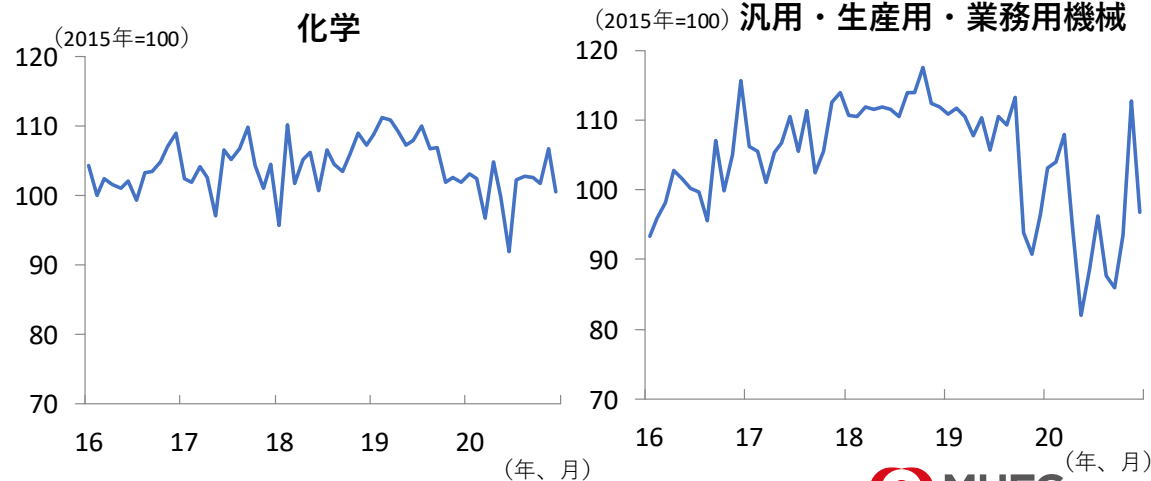
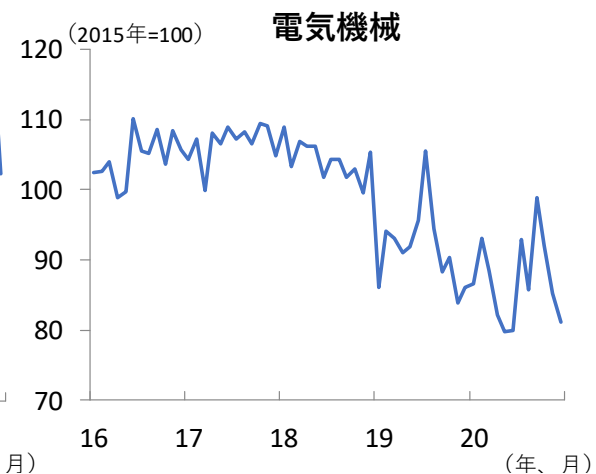
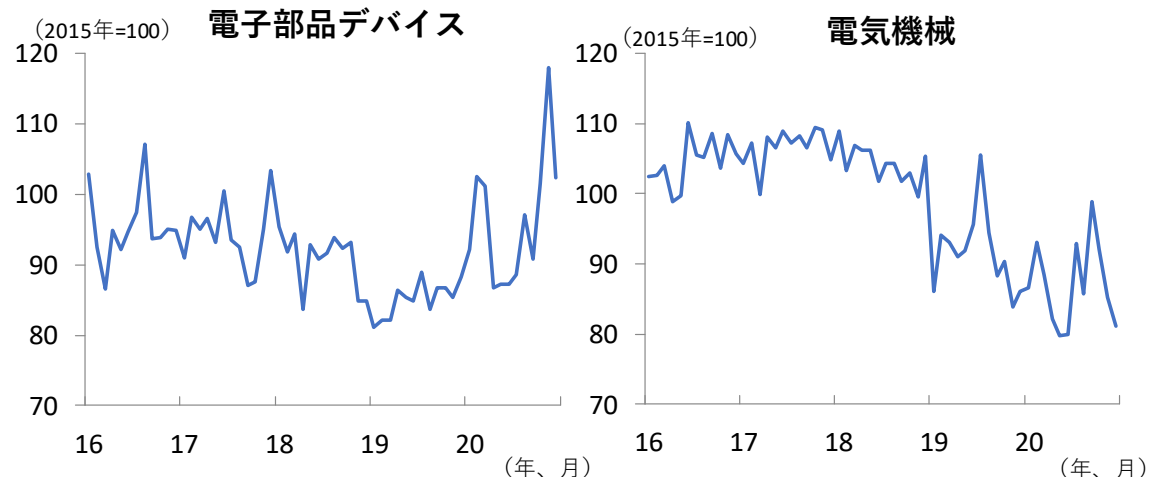
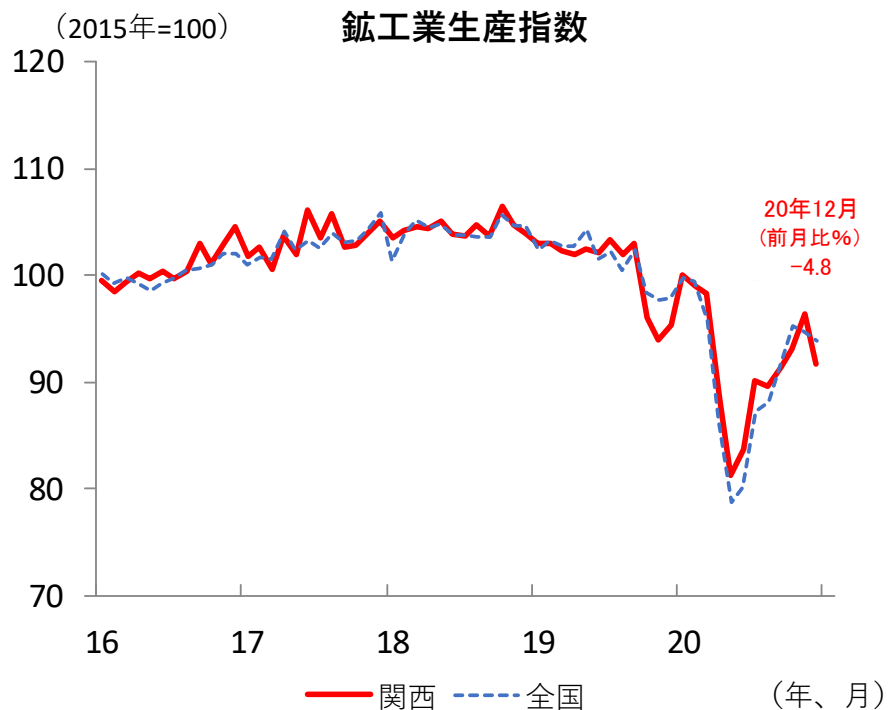
- 生産(12月)は4ヶ月ぶりに減少。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械など主要業種で減少となった。
- 実質輸出(1月)は前月比+13.3%と2ヶ月連続で大幅に増加。
- 賃金(11月)は16ヶ月連続で前年比マイナス。
- 個人消費関連指標は、弱い動きがみられる。インバウンド蒸発の影響で、小売売上は全国に比べ弱い動きとなっている。緊急事態宣言再発令もあって弱い動きが続くと見込まれる。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	増加している(↑:持ち直している)
設備投資	増勢が鈍化している
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

生産

12月の鉱工業生産(関西)は前月比-4.8%と4ヶ月ぶりに減少したが、基調としては持ち直している。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械など主要な業種で減少に転じた。前年比では-1.8%と減少に転じた。

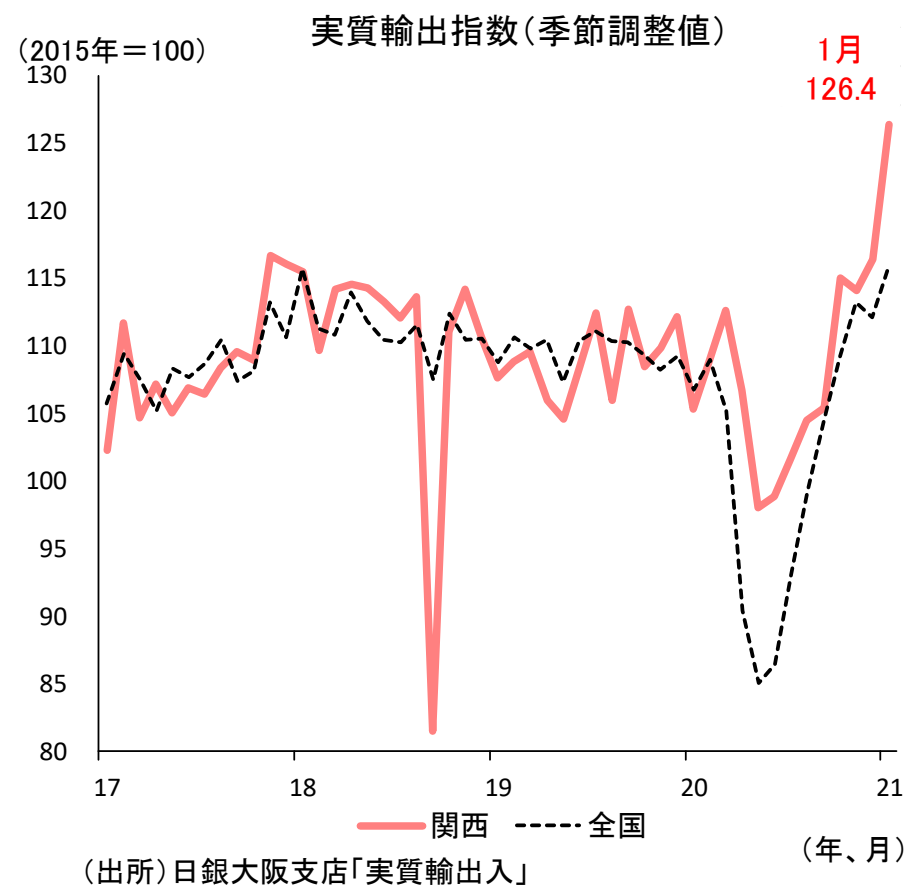
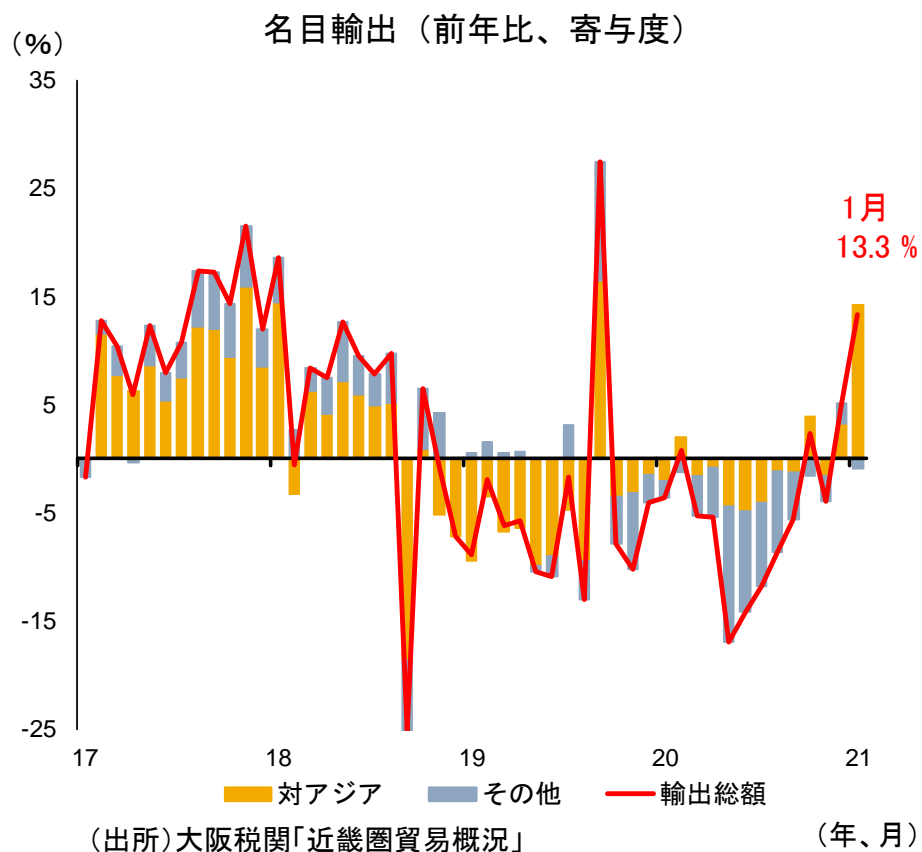


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

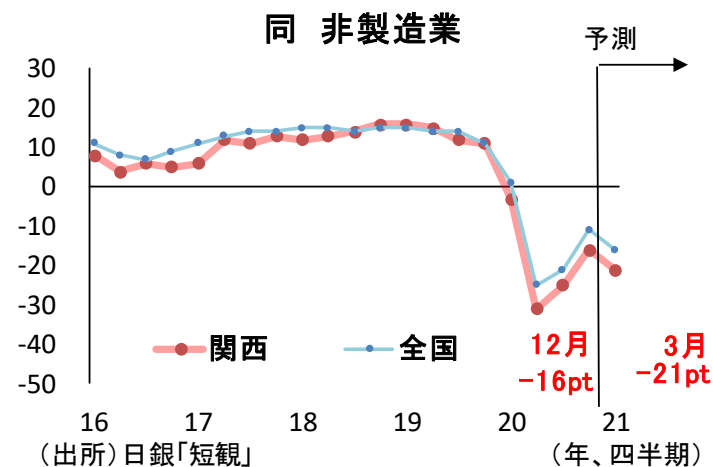
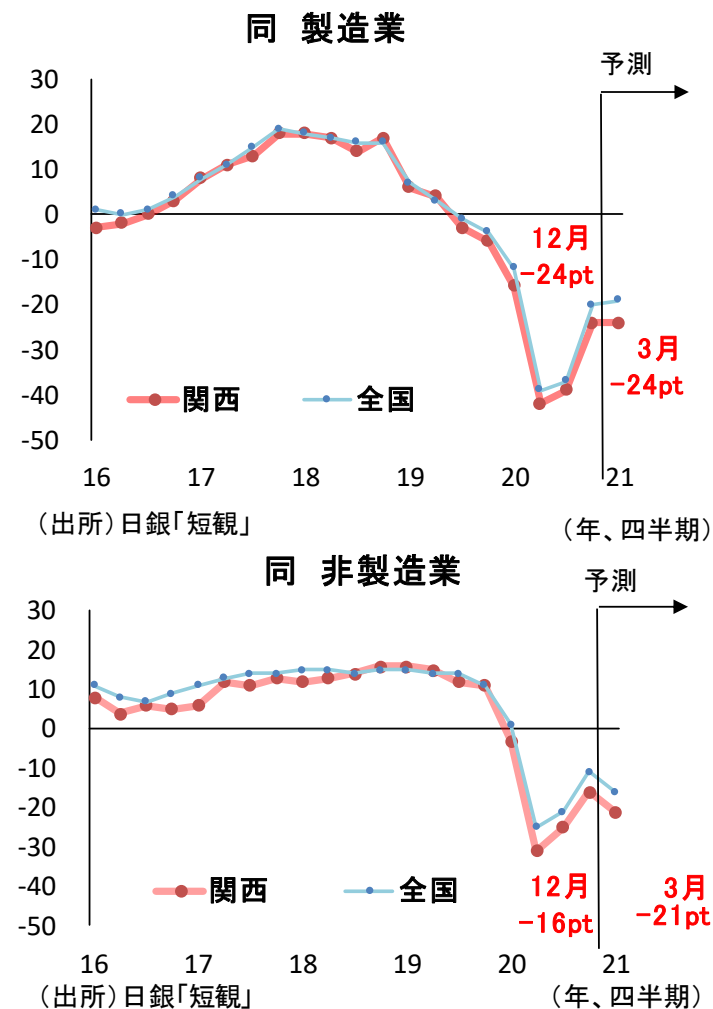
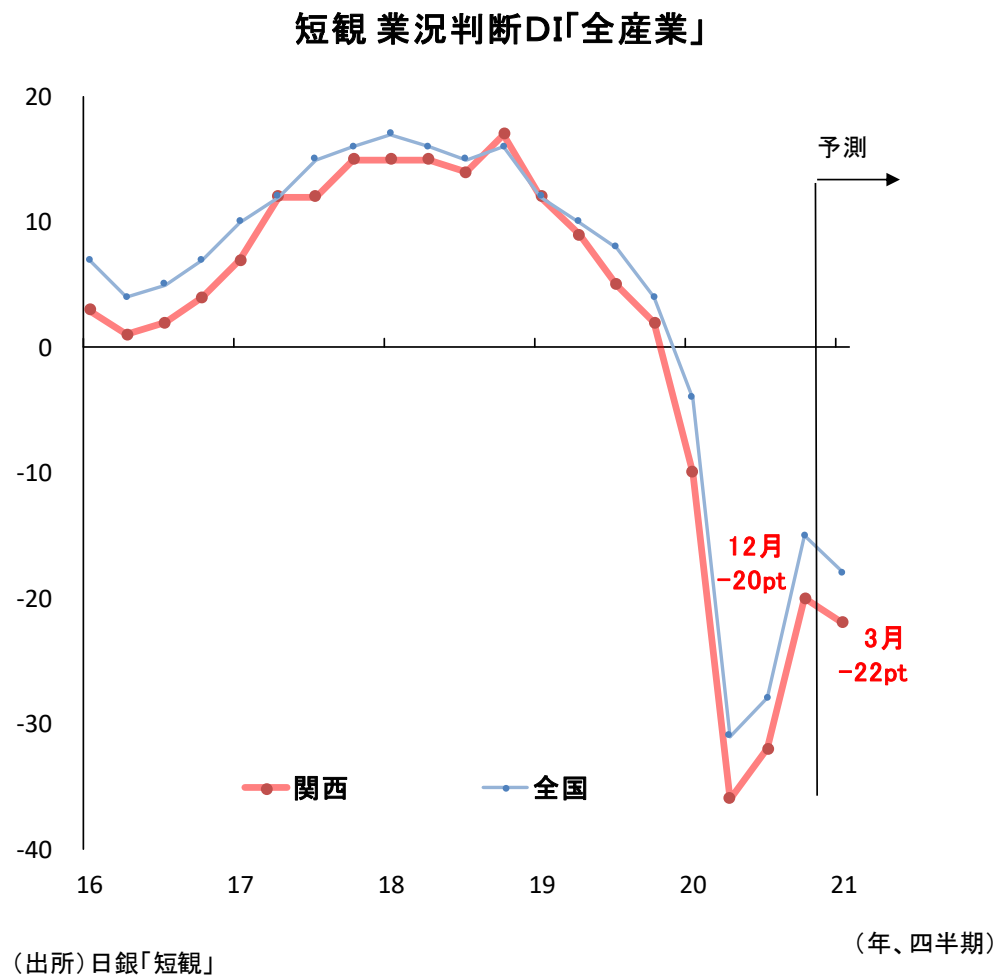
1月の名目輸出額は前年比+13.3%と2ヶ月連続で増加、増加幅も拡大した。地域別では、米国向けが減少に転じたが、中国を含むアジア向けが大幅に増加した。品目別では、プラスチック、半導体等製造装置、半導体等電子部品などが増加した。

1月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+8.6%と2ヶ月連続で上昇した。



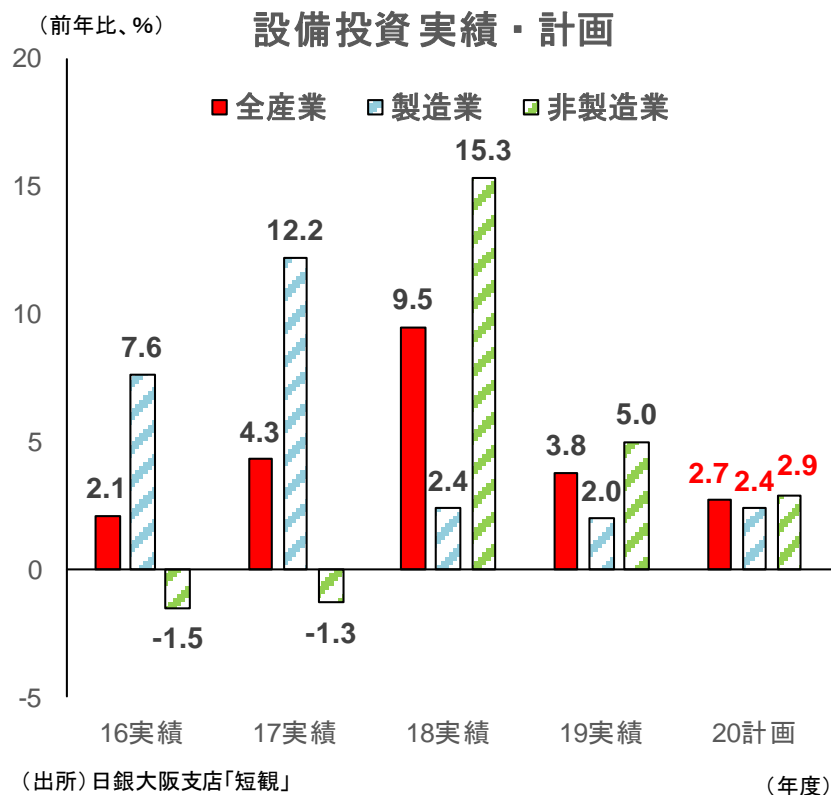
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは全産業で-20ptと9月から改善。製造業は-24pt、非製造業は-16pt。先行き(3月)については、全産業、非製造業は悪化、製造業は横ばいと見込まれている。



設備投資 ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、20年度の設備投資(計画)は前年比+2.7%の増加が見込まれている。製造業、非製造業ともに増加の見込みであるが、いずれも9月調査に比べ下方修正となった。製造業では素材業種が増加を見込む一方、加工業種で減少見込み。非製造業では、建設、不動産が増加、卸小売、宿泊・飲食サービスで減少が見込まれている。



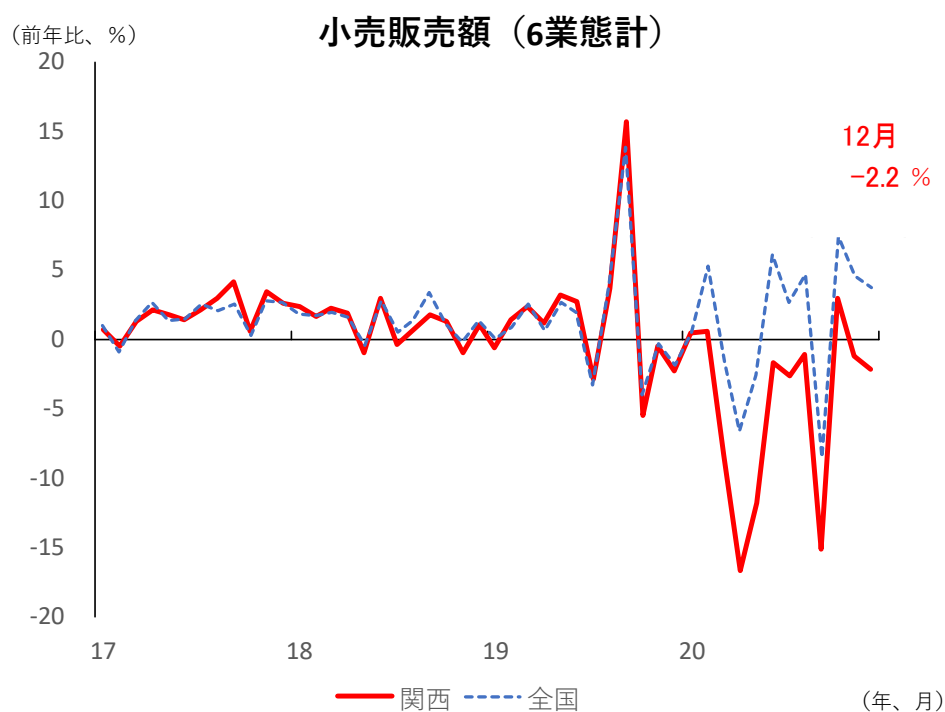
設備投資額(前年比%)

	19年度実績	20年度計画	
		今回	9月調査時 [差異]
全産業	3.8	2.7	3.3 -0.6
製造業	2.0	2.4	3.3 -0.9
非製造業	5.0	2.9	3.3 -0.4

個人消費(小売売上、自動車販売)

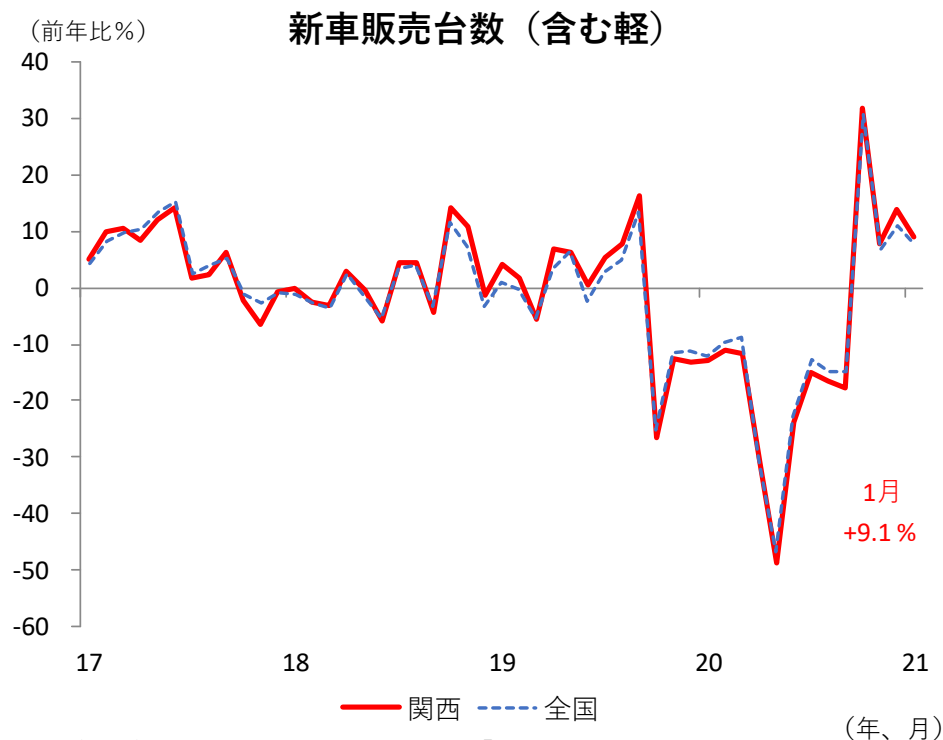
12月の小売販売額は、前年比-2.2%と2ヶ月連続で減少。10月は前年が消費税引き上げ直後で低水準であったため高い伸びとなったが、その後は弱い。インバウンド蒸発の影響もあって全国と比べて弱い動きとなっている。

1月の新車販売は前年比+9.1%と4ヶ月連続で増加した。普通車が2桁増となり、小型車、軽自動車も増加した。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



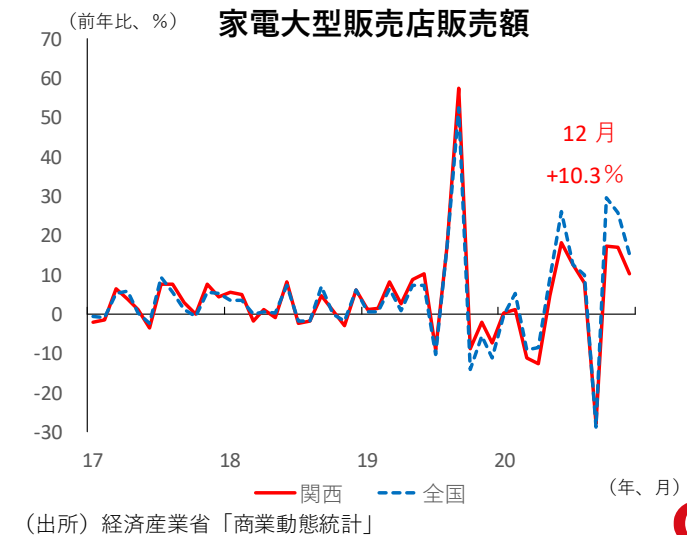
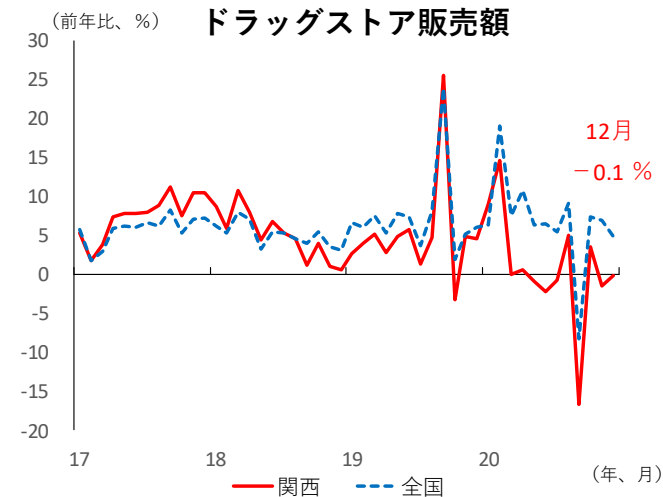
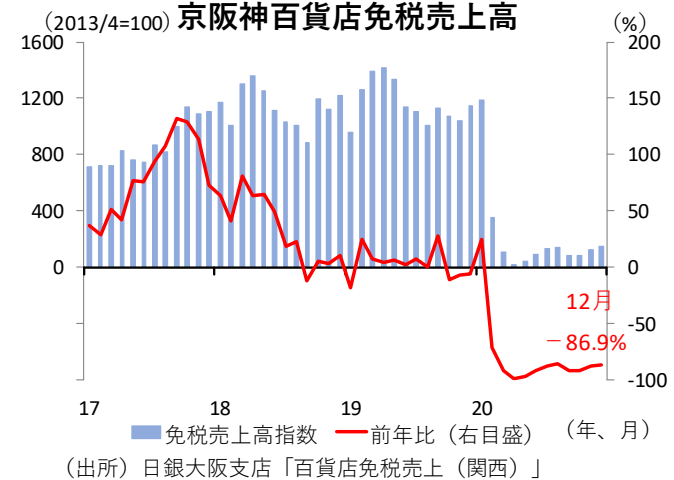
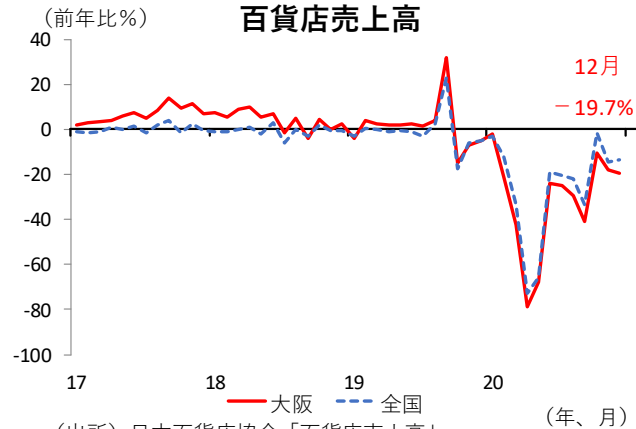
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

12月の百貨店売上(大阪)は、コロナ感染再拡大、インバウンド蒸発の影響等で前年比-19.7%と大幅減が続いている。

12月のドラッグストアは小幅ながら前年比で2ヶ月連続の減少、家電は3ヶ月連続で2桁増が続いている。



マインド・景況感

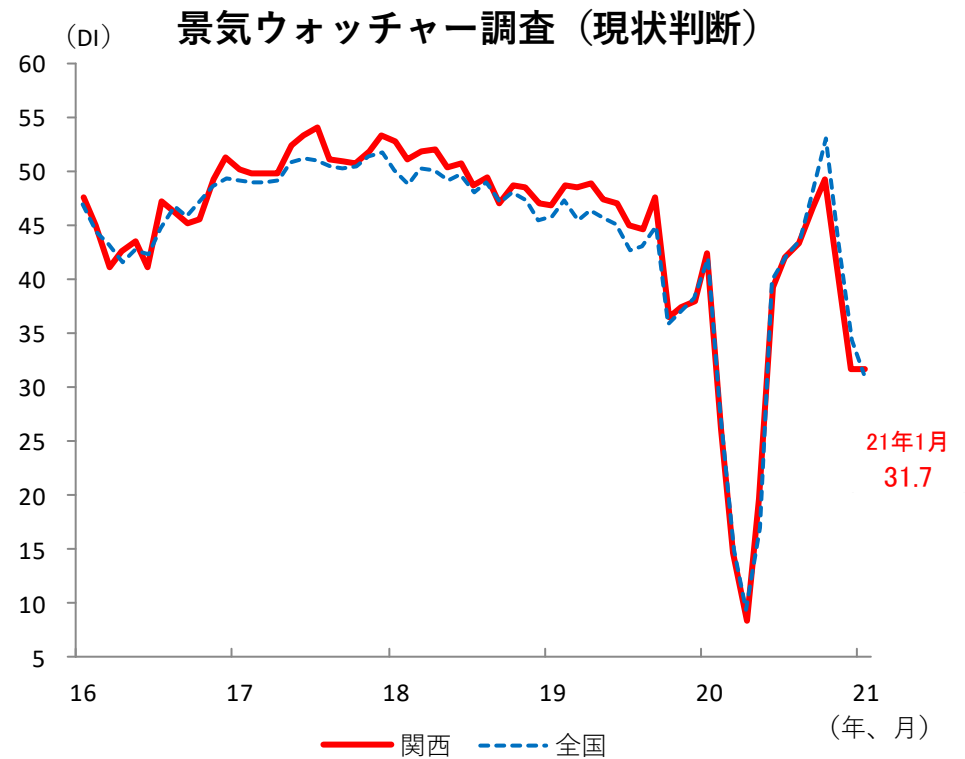
1月の消費者態度指数(季節調整値)は28.8と4ヶ月連続で低下。

1月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、新型コロナウイルス第3波拡大による緊急事態宣言再発令の中、前月と同水準の31.7となった。



(注)関西の季節調整値はMURC試算

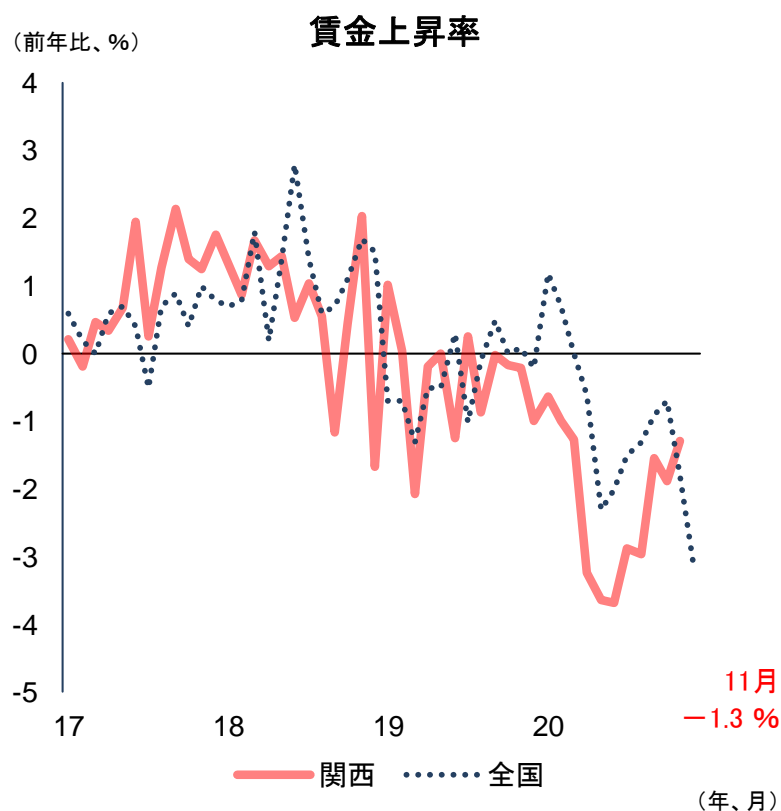
(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

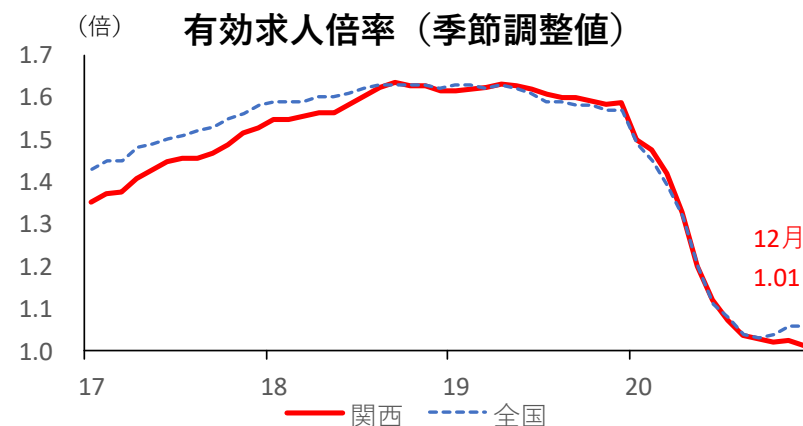
賃金・雇用

11月の名目賃金指数は、前年比-1.3%と16ヶ月連続で前年比で減少。京都、大阪、兵庫が減少した。
 12月の有効求人倍率は1.01倍と前月比ほぼ横ばい。求人数が減少し、求職者数が増加した。
 20年第4四半期の失業率は3.1%と前期から横ばい。就業者数は増加した。

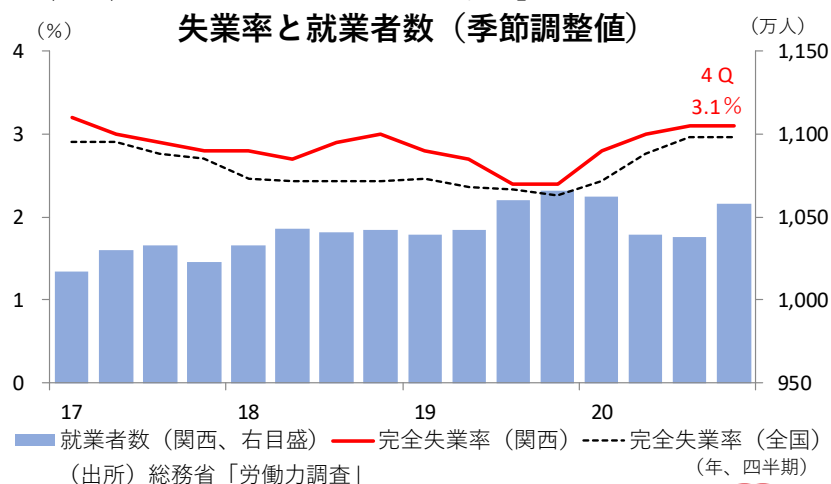


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



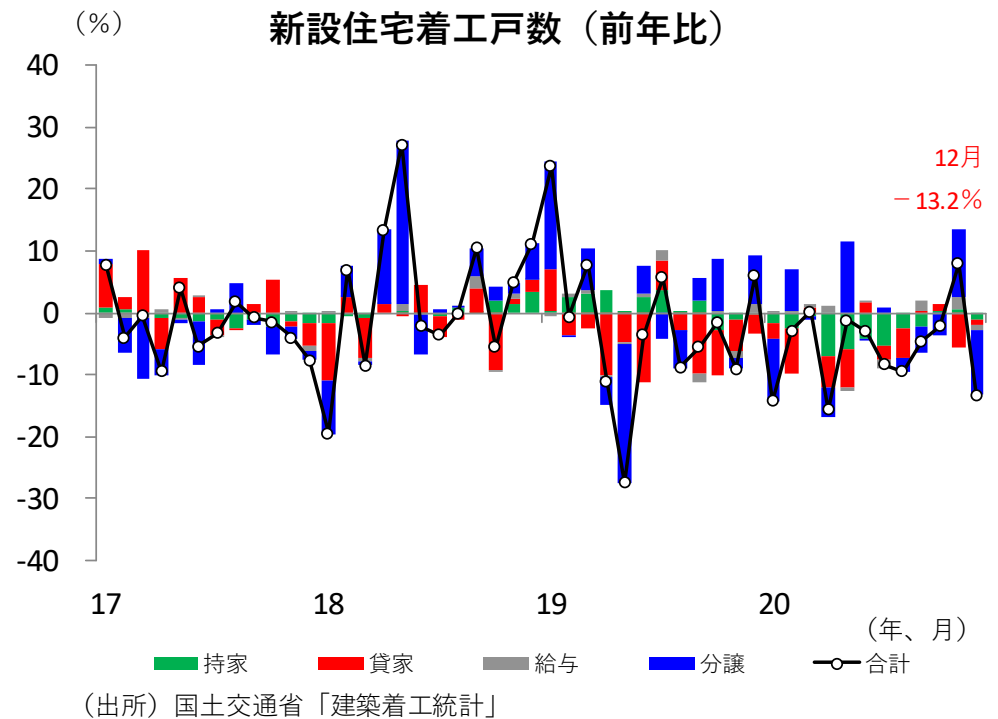
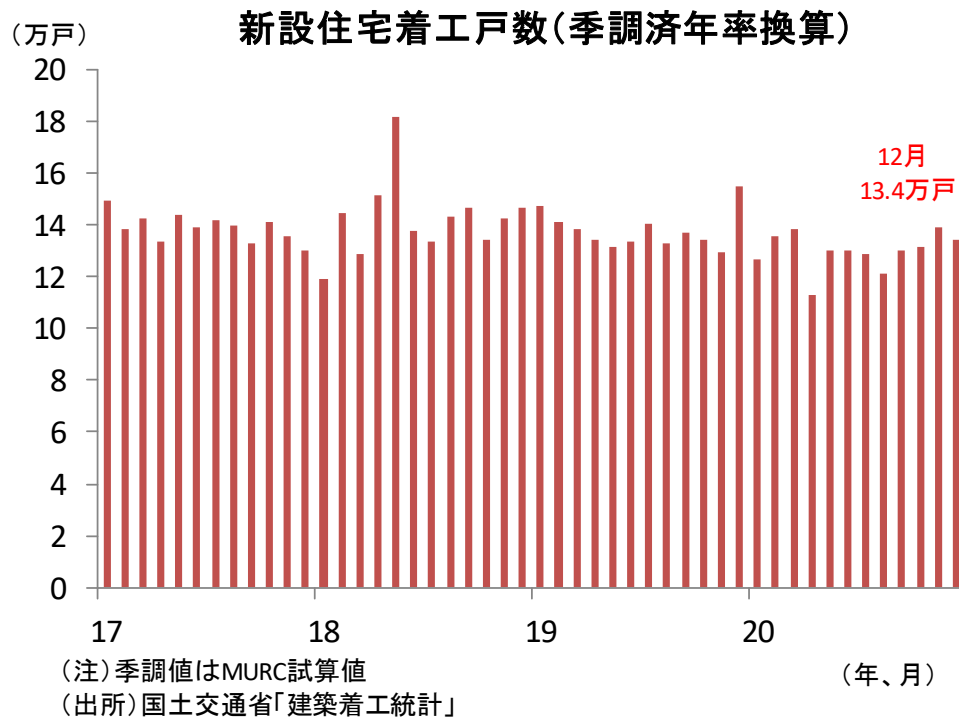
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 総務省「労働力調査」

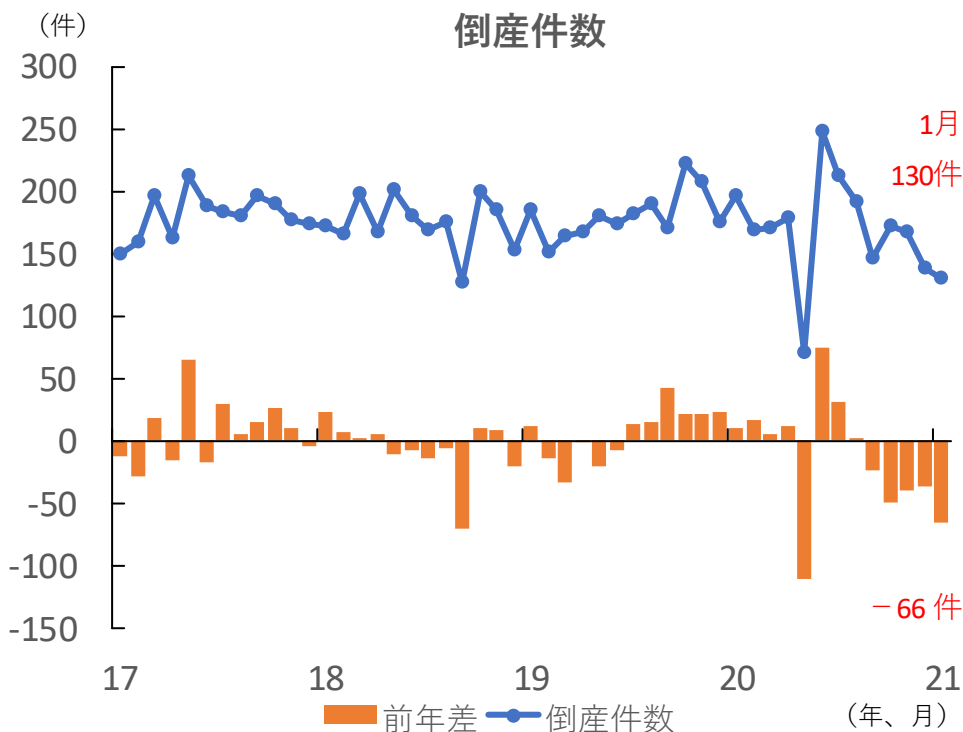
住宅投資

12月の住宅着工は季調・年率13.4万戸、前年比では-13.2%となった。持家、貸家、分譲が減少した。



倒産

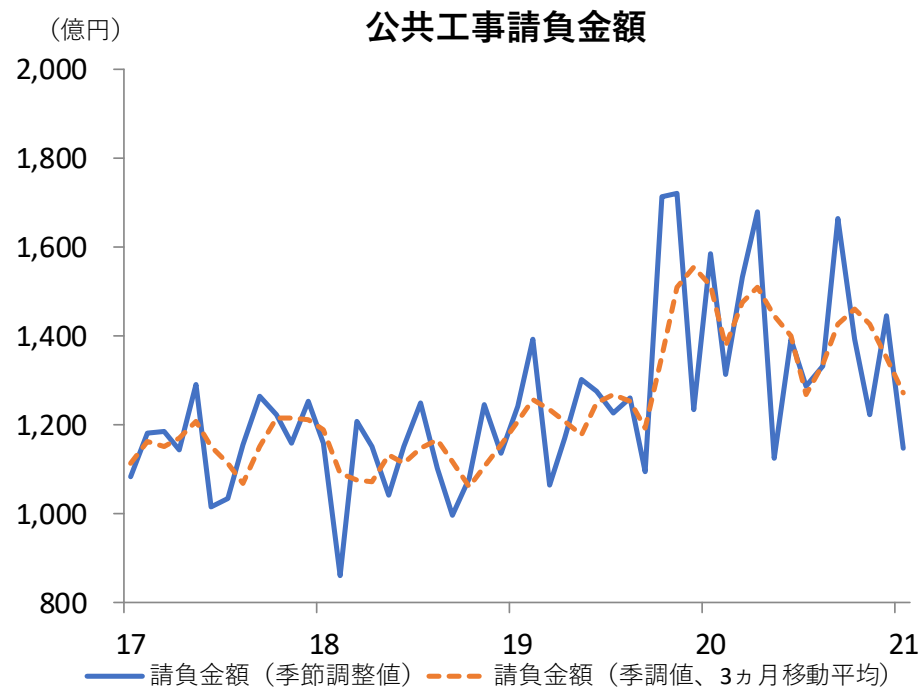
1月の倒産件数は130件(前年差-66件)と、低い水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください